

科目名	バイヤー演習	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	ファッションビジネスコース バイヤー専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	120	作成者	嵯峨根有衣

【科目の到達目標】

バイヤーに必要な知識を身につける。

【科目の概要】

バイヤーの仕事内容を理解し、販促計画から買い付け、人に伝える力を身につけます。

【授業計画】

90分/コマ

前期		後期	
1	セレクトショップの種類を知る	31	仕入れ2-3
2	アパレル企業の職種を知る	32	仕入れ2-4
3	仕入れ1-1	33	仕入れ2-5
4	仕入れ1-2	34	仕入れ2-6
5	販促計画1-1	35	イベント企画-1
6	販促計画1-2	36	イベント企画-2
7	コンセプトの立て方-1	37	イベント企画-3
8	コンセプトの立て方-2	38	イベント企画-4
9	コンセプトの立て方-3	39	イベント企画-5
10	コンセプトの立て方-4	40	イベント企画-6
11	コンセプトの立て方-5	41	イベント企画-7
12	コンセプトの立て方-発表	42	イベント企画-8
13	店舗見学-1	43	イベント企画-9
14	店舗見学-2	44	イベント企画-10
15	店舗見学-3	45	イベント見学-1
16	店舗見学-4	46	イベント見学-2
17	shop立案~実習1	47	イベント企画-11
18	shop立案~実習2	48	イベント企画-12
19	shop立案~実習3	49	商品知識-1
20	shop立案~実習4	50	商品知識-2
21	shop立案~実習5	51	商品知識-3
22	shop立案~実習6	52	商品知識-4
23	shop立案~実習7	53	商品知識-5
24	shop立案~実習8	54	商品知識-6
25	shop立案~実習9	55	商品知識-7
26	shop立案~フィードバック	56	商品知識-8
27	販促計画2(数字)-1	57	商品知識-9
28	販促計画2(数字)-2	58	商品知識-10
29	仕入れ2-1	59	商品知識-11
30	仕入れ2-2	60	期末テスト

【成績評価方法】

提出課題の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

科目名	トレンド分析	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	ファッションビジネスコース バイヤー専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	60	作成者	松下絢子

【科目の到達目標】

トレンドを発信する立場として、情報の分析方法を身につける。
トレンド予測をわかりやすく伝えるための表現テクニックを習得する。

【科目の概要】

ファッションの流行だけに留まらず、市場全体のトレンド情報の収集分析方法を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	導入		16 雑誌着回しコーディネート ターゲット分析
2	コレクションとブランド		17 雑誌着回しコーディネート テーマ分析・設定
3	コレクションから読み解くトレンド研究		18 雑誌着回しコーディネート 資料作成
4	コレクションから読み解くトレンド研究		19 雑誌着回しコーディネート 2026S/STトレンド分析
5	コレクションから読み解くトレンド研究		20 雑誌着回しコーディネート スタyling考案
6	プレゼンテーション		21 雑誌着回しコーディネート スタyling撮影
7	ジャパンファッション&カルチャートrend		22 雑誌着回しコーディネート スタyling撮影
8	ジャパンファッション&カルチャートrend		23 雑誌着回しコーディネート スタyling撮影
9	ジャパンファッション&カルチャートrend		24 雑誌着回しコーディネート スタyling撮影
10	マクロ環境分析		25 雑誌着回しコーディネート スタジオ単品撮影
11	マクロ環境分析		26 雑誌着回しコーディネート 資料作成
12	マクロ環境分析		27 雑誌着回しコーディネート 資料作成
13	プレゼンテーション		28 雑誌着回しコーディネート 資料作成
14	前期筆記試験		29 雑誌着回しコーディネート まとめ
15	雑誌着回しコーディネート 雑誌分析		30 プレゼンテーション

【成績評価方法】

提出課題の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

なし

【教材・教具】

ノートパソコン、筆記用具、A4ファイル

科目名	リテールマネジメント	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	ファッションビジネスコース バイヤー専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 10% 実習 90%
時間数	60	作成者	松原大樹
【科目の到達目標】 SDGsの考えを根底に持続可能な生産消費の概念を体感的に理解し ビジネスにおける発想だけでなく社会的な問題解決に対してもアクションできる気概を育成する。			
【科目の概要】 短期集中型の実践的な実習を行う。古着卸し業者や古着屋と連携をはかり実際の現場での体験をもとに学生の瞬間の閃きや創造性を伸ばす。			
【授業計画】 90分/コマ		前期	後期
1	オリエンテーション	16	ショップ運営1
2	各ショッププレゼン	17	ショップ運営2
3	買い付け実習1	18	ショップリサーチ
4	買い付け実習2	19	買い付け実習1
5	買い付け実習3	20	買い付け実習2
6	買い付け実習4	21	商品メンテナンス1
7	買い付け実習5	22	商品メンテナンス2
8	買い付け実習6	23	映像作品製作
9	ショップ戦略	24	映像作品製作
10	ショップリサーチ1	25	映像作品製作
11	ショップリサーチ2	26	映像作品製作
12	ショップ戦略2	27	映像作品製作の振り返り
13	商品メンテナンス1	28	上コレ買い付け1
14	商品メンテナンス2	29	上コレ買い付け2
15	プレタ展振り返り	30	総括
【成績評価方法】 提出課題の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%			
【教科書・参考書】 必要があれば随時配布			
【教材・教具】 スマホ 筆記具 カメラ			

科目名	トレーニングタイム	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	ファッションビジネスコース バイヤー専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	塚井良太

【科目の到達目標】

学内イベントなどを通して、ファッションビジネスの現状を学び、動向や情勢の読み方を理解して実践的に活かせる技術を付ける。

Office/Adobe系ソフトウェア、Googleドライブ等を実践の中で活用し、ビジネスに必要な企画書や資料を作成できる。

【科目の概要】

学内イベントを通して、企画・品揃え・販促・販売など、一連の計画・管理などを行い、ショップやイベント運営を学生主動で行う。IT社会に対応するため、基本的なソフトウェアの使い方を実践的に習得し、それらを用いた書類作成、企画～プレゼンテーションまでの実践的な学習を行う。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1・2	オリジナルブランド企画販売		31・32 ポップアップショップ企画運営
3・4	オリジナルブランド企画販売		33・34 ポップアップショップ企画運営
5・6	オリジナルブランド企画販売		35・36 ポップアップショップ企画運営
7・8	オリジナルブランド企画販売		37・38 ポップアップショップ企画運営
9・10	オリジナルブランド企画販売		39・40 ポップアップショップ企画運営
11・12	オリジナルブランド企画販売		41・42 ポップアップショップ企画運営
13・14	オリジナルブランド企画販売		43・44 ポップアップショップ企画運営
15・16	オリジナルブランド企画販売		45・46 ポップアップショップ企画運営
17・18	オリジナルブランド企画販売 搬入・運営		47・48 ポップアップショップ企画運営
19・20	オリジナルブランド企画販売 収支報告		49・50 ポップアップショップ企画運営
21・22	ポップアップショップ企画運営 分析・調査		51・52 ポップアップショップ企画運営
23・24	ポップアップショップ企画運営 分析・調査		53・54 ポップアップショップ企画運営
25・26	ポップアップショップ企画運営		55・56 ポップアップショップ企画運営
27・28	ポップアップショップ企画運営		57・58 ポップアップショップ企画運営
29・30	ポップアップショップ企画運営		59・60 ポップアップショップ企画運営 収支報告

【成績評価方法】

提出課題の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

ノートパソコン

科目名	ビジュアルマーチャンダイジング	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	ファッションビジネスコース バイヤー専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 60 % 実習 40 %
時間数	60	作成者	道仲阿子

【科目の到達目標】

VMの意義とその効果を理解し、リテールレイアウト計画能力のある人材の育成を目指す。
販売員が店頭管理する重要性が分かり、買いやすく、メンテナンスしやすい売り場作りができる。
さらに店舗の課題を抽出し、改善策を立てられる人材を目指す。

【科目の概要】

視覚的表現や効果を的確に捉え、店舗で求められている考え方や、リテールのサイズによる導線計画を踏まえて、お客様目線から捉えたVM計画を習得する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	VMとは①		16 ゾーニング計画①
2	VMとは②		17 ゾーニング計画②
3	VMとは③		18 ハンガーラックディスプレイ
4	VMとは④		19 壁面プランニング①
5	プレタ展のVP計画書①		20 壁面プランニング②
6	プレタ展のVP計画書②		21 ディ스플레이実践①
7	プレタ展のVM作成		22 ディ스플레이実践②
8	プレタ展 搬入		23 ディ스플레이実践③
9	プレタ展 搬入		24 上コレ準備
10	テーマ別VM①		25 上コレ準備
11	テーマ別VM②		26 上コレ準備
12	テーマ別VM③		27 上コレ搬入
13	雑誌分析コーディネート①		28 上コレ搬入
14	雑誌分析コーディネート②		29 上コレ reflection
15	期末試験		30 期末試験

【成績評価方法】

提出課題の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

なし

【教材・教具】

授業スライド
持っている学生はPC,iPadを持参すること

科目名	ファッションビジネス論	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	ファッションビジネスコース バイヤー専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80% 実習 20%
時間数	60	作成者	塚井良太 / 樂愛美

【科目の到達目標】

ファッションビジネスの周辺領域にある様々なサブカルチャーやアート・音楽など幅広い知識を身に着ける。
コレクションからトレンドを読み取り、次シーズンのトレンド予測ができる。

【科目の概要】

時代に合ったビジネス感覚を養うべくファッションビジネスにおける最新のトレンドやニュース・ビジネス情報をリアルタイムで学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	現代アートとファッション1		16 スニーカーの歴史
2	現代アートとファッション2		17 デニムの歴史1
3	繊維ファッション産業の歴史		18 デニムの歴史2
4	アパレル産地研究Ⅰ		19 古着
5	アパレル産地研究Ⅱ		20 古着
6	アパレル産地研究Ⅲ		21 市場調査
7	アパレル産地研究プレゼンテーション		22 イベント見学
8	ファッションビジネスに関する法務の知識		23 イベント見学
9	コンプライアンスとは		24 多様性とファッション
10	ファッション業界のSDGsと未来Ⅰ		25 海外のアパレル産業・小売産業Ⅰ
11	ファッション業界のSDGsと未来Ⅱ		26 海外のアパレル産業・小売産業Ⅱ
12	販売チャネルの多角化が及ぼす影響		27 アパレルMDとリテールMD
13	世界で活躍する日本の経営者		28 アパレル生産と物流
14	総復習		29 総復習
15	テスト		30 テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% 期末試験30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具、PC

科目名	販売技術Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	ファッションビジネスコース バイヤー専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 50% 実習 50%
時間数	120	作成者	塚井良太/島津和音

【科目の到達目標】

「販売技術Ⅰ」にて習得した販売の基礎知識を元に、顧客ニーズの開発をきっかけに顧客づくりが出来、アパレルショップのショップチーフ・ショップマスターとして、営業展開計画、商品管理、顧客管理、人事管理、売場管理が出来る人材を育成。

【科目の概要】

アパレル販売の接客担当者(FA)における役割は、販売だけに留まらない。最終消費者に直接接触できる店頭販売員は、販売を通じて得た顧客の声を生産者に伝えるという重大な使命がある。本教科では、顧客の心理を理解し、ライフスタイルに沿った商品提案と、顧客管理、ショップマスターとしてのマネジメント能力を習得する。

【授業計画】

前期		後期	
90分/コマ			
1・2	現在の自分を知る	31・32	アイテム別対応 ジャケット
3・4	販売スタッフの役割と意識	33・34	アイテム別対応 アウター・重衣料
5・6	販売テクニック アプローチ、お聞き出し	35・36	アイテム別対応 フットウェア
7・8	販売テクニック 会話力	37・38	アイテム別対応まとめ
9・10	販売テクニック セールストーク	39・40	セルフマネジメント、コミュニケーション
11・12	販売テクニック 体型別対応	41・42	セールスリーダーの役割
13・14	販売テクニック 色を味方につける	43・44	ティーチング、コーチングスキル
15・16	販売テクニック パーソナル対応Ⅰ	45・46	後期中間実技テスト
17・18	販売テクニック パーソナル対応Ⅱ	47・48	クレーム対応
19・20	前期中間実技テスト	49・50	ショップチーフの役割
21・22	ラッピング技術	51・52	ショップマスターの仕事
23・24	販売テクニック FR誘導	53・54	ショップ運営計数管理
25・26	販売テクニック お客様タイプ別対応	55・56	販売テクニック シーズン立ち上がり
27・28	前期末筆記テスト/弱点強化対応	57・58	後期末筆記テスト/接客ロールプレイング
29・30	前期末実技テスト(上安祭RP予選)	59・60	後期末実技テスト

【成績評価方法】

課題評価 60% 試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

「ファッション販売2 ファッション販売能力検定2級公式テキスト」財団法人日本ファッション教育振興協会

【教材・教具】

アパレル商品・店舗什器一式・店舗備品、上條美由紀「ビジュアル版 プロの接客術」織研新聞社
「ファッション販売」商業界

科目名	商品製作Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	ファッションビジネスコース バイヤー専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 10% 実習 90%
時間数	120	作成者	山田友己

【科目の到達目標】

洋服の構造、製作工程、シルエットとパターンや素材の関連性等を理解し、ファッションに携わる者として、相応しい商品のセレクトやコーディネートができる知識の習得。

【科目の概要】

デザイン・仕様・素材等、様々な角度から洋服を研究。実際に製作し、また、それに関する作業をすることにより、仕事をする上で必要な知識を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1・2	リメイク作品①	31・32 ワンピース① パターントレース
3・4	リメイク作品②	33・34 ワンピース② 裁断・芯貼り・標付け
5・6	企業・店舗見学	35・36 ワンピース③ 縫製
7・8	プレタ販売作品製作①	37・38 ワンピース④ 縫製
9・10	プレタ販売作品製作②	39・40 ワンピース⑤ 縫製
11・12	プレタ販売作品製作③	41・42 ワンピース⑥ 縫製
13・14	プレタ販売作品製作④	43・44 ワンピース⑦ 縫製
15・16	パンツ① パターントレース	45・46 ワンピース⑧ 縫製
17・18	パンツ② 裁断・芯貼り・標付け	47・48 ワンピース⑨ お直しについて
19・20	パンツ③ 縫製	49・50 ワンピース⑩ 仕上げ・検品
21・22	パンツ④ 縫製	51・52 創作作品① デザイン
23・24	パンツ⑤ 縫製	53・54 創作作品② 縫製
25・26	パンツ⑥ 縫製	55・56 創作作品③ 縫製
27・28	パンツ⑦ お直しについて	57・58 創作作品④ 仕上げ
29	パンツ⑧ 仕上げ・検品	59 創作作品⑤ 仕上げ・検品
30	前期末試験	60 後期末試験

【成績評価方法】

提出課題の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

「立体式洋裁」上田安子著 服飾手帖社 改訂版 / 「パンツ」「ワンピース」上田安子服飾専門学校 最新版 教員作成のオリジナルプリント

【教材・教具】

実物、それに準ずるサンプル、部分縫いの見本
ミシン等縫製機器、洋裁道具、製図道具、課題を製作するための生地、副資材など

科目名	ビジネスマナーⅡ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	昼間
コース	ファッションビジネスコース バイヤー専攻		前期
学年	2年	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	30	作成者	美濃岡京子

【科目の到達目標】

ヒューマンスキル・コミュニケーションスキルの向上を図り、どのような職場でも実力を発揮できる社会人基礎力を身につける。
 ・ビジネスマナーの基本知識や動作を体得し、お客様や組織内から「安心」「信頼」を勝ち取る人材になれることを目指す。
 ・社会人として、個あつての団体。団体あつての個をまなび自己成長に役立てる。
 ・社会で必要とされているビジネスマナーとホスピタリティマインドを習得し、希望の就職先から内定を得る。

【科目の概要】

臨機応変な対応ができるようにビジネスシーンを想定しながら実技練習を重ねる。
 ・AIやロボット化の時代において人間にしかできない「おもてなし精神」を表情、言葉、態度で具現化できるよう、1分間スピーチやロールプレイングを多く取り入れ体得してもらおう。
 ・自身の価値に気が付き、将来のビジョンをもって叶えられるように人間力を養う。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	ガイダンス・自己価値とマナーの重要性		
2	ビジョン構築		
3	ビジョンボード作成（提出課題）		
4	自己PR作成と面接対策①		
5	自己PR作成と面接対策②		
6	模擬面接①		
7	模擬面接②		
8	ホスピタリティーマインド		
9	ビジネス実務「お礼状の書き方」		
10	社会人としてのマナー「洋食」		
11	社会人としてのマナー「和食」		
12	慶弔のマナー		
13	金包みのマナー		
14	まとめテスト		
15	チームコミュニケーション		

【成績評価方法】

提出課題の評価 40% 期末試験 50% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

田野直美「ビジネスでの常識集」 トータルマナー株式会社 最新版

【教材・教具】

ビジョンボード作成・ボード自由・添付用資料・文房具

科目名	ワークショップ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	ファッションビジネスコース バイヤー専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 70 % 実習 30 %
時間数	30	作成者	塚井良太

【科目の到達目標】

ファッションビジネスにおける接客や知識について様々な角度から学び、幅広く物事を捉え考察できる事を目標とする。

【科目の概要】

各テーマに沿った講師を招き、専門性に特化した接客や経営について講義やグループワーク、ロールプレイングにより学ぶ。また、接客に必要な外国語基本単語やフレーズを身につけ接客スキルの自信に繋げる。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 中国語圏、英語圏の消費者、観光客について - 免税手続き
- 2 中国語 - 販売における会話の基本
- 3 中国語 - 実用会話 色、アイテム、サイズ、会計
- 4 英語 - 英語圏の消費者、観光客について - 免税手続き
- 5 英語 - 販売における会話の基本
- 6 英語 - 実用会話 色、アイテム、サイズ、会計
- 7 古着屋経営とオリジナルブランド立ち上げ
- 8 アウトドアブランドの現状
- 9 ホスピタリティ
- 10 セレクトショップ経営とブランド開拓
- 11 作品制作
- 12 作品制作
- 13 プレス業界 撮影
- 14 ラグジュアリーブランド接客
- 15 ラグジュアリーブランド接客 実践

【成績評価方法】

課題60% 期末試験30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

科目名	服飾素材論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	ファッションビジネスコース バイヤー専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 100%
時間数	30	作成者	古濱伴子

【科目の到達目標】

素材の特性、機能性を理解し、目的に合わせた商品選定や、適した取り扱いが出来るようになる。

【科目の概要】

機能性商品など、市場には様々な特徴のある商品が並んでいる。繊維ごとの特性を実験や演習を交えながら解説し、そのメンテナンスに至るまで習得する。

【授業計画】

90分/コマ

前期

後期

- | | | |
|--|----|------------------------------|
| | 1 | オリエンテーション |
| | 2 | 家庭用品品質表示法 洗濯表示 |
| | 3 | アパレル商品の取り扱いについて |
| | 4 | 天然繊維 |
| | 5 | 化学繊維(1)再生繊維・半合成繊維 |
| | 6 | 化学繊維(2)合成繊維
ナイロン・アクリル |
| | 7 | 化学繊維(3)合成繊維
ポリエステル・ポリウレタン |
| | 8 | 合成皮革・人工皮革 |
| | 9 | 衣服に求められる機能と着心地 |
| | 10 | 糸の種類 |
| | 11 | 織物の組織とその特徴 |
| | 12 | 編物の組織とその特徴 |
| | 13 | 加工・染色・トラブル |
| | 14 | 総復習 |
| | 15 | 総合テスト |

【成績評価方法】

提出課題の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

一見 輝彦「わかりやすいアパレル素材の知識」ファッション教育社 2012年
「生地の事典」株式会社みずしま加工 2013年

【教材・教具】

筆記用具

科目名	ファッション史Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	ファッションビジネスコース バイヤー専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 90% 実習 10%
時間数	30	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

- ・時代背景や世界情勢によって影響を受け変化するトレンドの流れを理解する。
- ・時代によって生み出された技法やシルエット、ディテールの変遷を学び、服飾デザインの基礎知識を習得する。

【科目の概要】

服飾の起源から現代にまで繋がる服飾デザインの変換を図版、絵画、写真、映画などのヴィジュアル資料から学んでゆく。

90分/コマ	前期	90分/コマ	後期
		1	ガイダンス 【導入】現代の情勢と服飾トレンドの変化
		2	古代ローマ～ビザンチン
		3	ルネサンスと衣服
		4	バロック時代:エリザベス I 世
		5	マリーアントワネット:革命と失脚
		6	復習/小テスト
		7	復習/発表
		8	ナポレオンの登場と19世紀ドレスの変容
		9	オートクチュールの誕生 ベルエポックとレ・ザネ・フィル
		10	世界恐慌とファッションの復興
		11	プレゼン作成①
		12	プレゼン作成②
		13	プレゼンテーション/課題作成
		14	復習/まとめ
		15	テスト

【成績評価方法】

課題作品評価60%、期末試験・小テスト30%、平常点10%

【教科書・参考書】

教科書「世界服飾史」

【教材・教具】

授業スライド 配布プリント